




平成26年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所/工事概要/会社名
水路部門		<p>ため池等整備事業(用排水施設整備) 皮籠(かわご)地区 白河市白坂 地内 水路工 L=63.3m 株式会社 鈴木建設 代表取締役 鈴木 清次</p> <p>本工事は、住宅地に隣接する農業用排水路の改修工事である。ため池洪水吐放流水路直下の水路であり、迂回水路が無いことから、降雨時の排水対策を行ったほか、住宅や食堂に近接していることから、施工時に発生する騒音や振動を想定し、着工前に会社一体で周辺住宅への個別訪問・説明を行った点は高く評価できる。また、施工前に水路内に生息していた魚を捕獲して上流のため池に放流するなど、周辺環境の保全に配慮した点も評価に値する。既設水路と横断暗渠工との接続やL型水路の緩曲線部の隙間処理が巧みであり、水路の通りも良く、出来形・出来ばえ共に極めて優秀である。</p>
農道部門		<p>基幹農道整備事業 大久(おおひさ)地区 いわき市大久町大久 地内 道路改良工 L=220m、幅員 W=5.5(7.0)m 株式会社 水中組 代表取締役 水野谷 正一</p> <p>本工事は、大型水路工や箱型擁壁工など複数の工種にわたる農道の改良舗装工事である。舗装時期が冬期間で橋面舗装も含まれており、アスファルト合材の温度が急激に下がる恐れがあったため、中温化合物を使用して品質の確保を図ったほか、異形ボックスカルバート施工の際に、敷均しコンクリートを実施し施工精度の向上を図った点は高く評価できる。また、人家が隣接する現場であったため、積極的に低騒音・低振動型の重機を使用した点も評価に値する。適切な施工管理を行うとともに高い技術力を十分に発揮しており、出来形・出来ばえ共に極めて優秀である。</p>
ほ場整備部門		<p>経営体育成基盤整備事業 原(はら)地区 会津若松市湊町大字原 地内 区画整理工 A=2.6ha、湧水処理工 A=5.4ha 堀井建設 株式会社 代表取締役 堀井 賢治</p> <p>本工事は、軟弱地盤で湧水等が見られるほ場の区画整理工事及び湧水処理等の工事である。施工条件が不利な場所で、施工時期に制約がある中、事前の準備や施工方法を工夫することにより工期短縮と品質確保を図った点は高く評価できる。また、施工管理において、湧水処理工の配置図・埋設深・勾配管理を1枚にまとめ、見やすい図面・管理表とした点も評価に値する。仮排水を促進するなど乾燥状態での施工を最優先に考え、レーザーとH鋼を用いて水田の均平に細心の注意を払った施工を行っており、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>

平成26年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所/工事概要/会社名
農山村施設部門		<p>農業用施設災害復旧事業（23年災） 藤沼湖（ふじぬまこ）地区 須賀川市江花 地内 護岸復旧工 L=340m 株式会社 赤羽組 代表取締役 赤羽 隆</p> <p>本工事は、平成23年3月に発生した東日本大震災で被災したダム貯水池内の護岸復旧工事である。 ダム貯水池内において、残存した張りブロック等を再利用する難易度の高い工事であり、厳しい施工条件の中で、ブロック1枚1枚を丁寧に取り外し、適切な仮置きを行うなど、きめ細かい施工は高く評価できる。 また、危険が予想される掘削面に養生シートを施工するなど安全管理、現場保護に対する意識が高い点も評価に値する。 崩落土砂を流用した盛土の締め固めも丁寧にっており、ブロックの通りも良く、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>
治山部門		<p>予防治山事業 日向（ひむき）地区 田村市都路町岩井沢 地内 山腹工 A=0.07ha（土留工 L=28.8m） 株式会社 石覚組 代表取締役 石井 敏也</p> <p>本工事は、東日本大震災及び平成23年10月台風10号災により山腹崩壊が発生し、家屋に被害を及ぼしたことから、山腹工事0.07haを施工したものである。 人家裏の狭隘な急傾斜地で冬期間の工事であるなど作業条件が厳しい中で、工期限内に工事を完成させた点は高く評価できる。 仮設階段の設置や滑落防止のためのスパイク等の装着など安全対策に取り組んだ点も評価に値する。 コンクリート土留工は、地山や既設構造物とのすり付けに配慮し、冬期施工にもかかわらず表面仕上げも良好で、非常に優秀な出来ばえである。</p>
林道部門		<p>ふるさと林道緊急整備事業 酒垂宝木（さかだれほうぎ）線 東白川郡鮫川村大字赤坂西野 地内 舗装工 L=1,240m、幅員 W=5.5（7.0）m 藤田建設工業 株式会社 代表取締役社長 藤田 光夫</p> <p>本工事は、山間部の狭小な地形における林道の改築工事である。 舗装工の施工に当たり、転圧能力に優れたNETIS登録のタイヤローラを使用するとともに、表層施工機械に平坦性向上のためのセンサーや表面温度センサーを装着し、出来形及び品質の向上に努めた点は高く評価できる。 また、施工が冬期間であったため、アスファルト合材の出荷温度調節や運搬時の二重シート養生を実施するなどのきめ細かな配慮や舗装密度測定器を用いて密度を測定し、転圧不足の発生防止を図った点も評価に値する。 適切な施工管理を実施するとともに高い施工技術を十分に発揮しており、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>

平成26年度 福島県優良建設工事表彰

部門	工事写真	事業名・地区名／工事場所/工事概要/会社名
特殊 構造 部門		<p>ため池等整備事業（ため池整備） 明神池(みょうじんいけ)地区 伊達郡国見町大字大木戸 地内 堤体工 L=20.0m、波除工 A=205.2㎡ 株式会社 渡辺建設 代表取締役 渡辺 一郎</p> <p>本工事は、樹園地内の農業用ため池の堤体工改修工事である。波除工は曲線のある構造であったが、ブロック割付け図を作成し、現場での配置・間隔を微調整しながら据付を行ったほか、丁張を密に設置して型枠を鉄筋と栈木で支えるなど、細やかな配慮や工夫により曲線部をきれいに仕上げた点は高く評価できる。 また、天端コンクリート等の施工にあたっては、堤体法面に仮設足場を設置するなど作業員の滑落防止等の安全対策も評価に値する。 既存町道との擦り付けも良く、出来形・出来ばえ共に極めて優秀である。</p>
治山 （災 害復 旧工 事） 部門		<p>災害関連緊急治山事業 綱木(つなぎ)地区 いわき市田人町石住 地内 山腹工 A=1.48ha（法切工V=14,003㎡、土留工(鋼製)N=3基） 常磐開発 株式会社 代表取締役社長 佐川 藤介</p> <p>本工事は、平成23年4月1日に発生した東日本大震災の余震による大規模崩壊地の復旧工事である。 降雨による表土流出を防止するため、表面水を水路工に導水するカゴ枠工の提案や、暗渠工事において掘削断面に合わせた重機バケットを独自に製作し、作業の効率化を図った点は高く評価できる。 また、1日2回の危険予知活動を実施して現場状況に応じた安全作業の指示徹底を行うとともに、施工中の落石事故防止のため防護ネットを施工するなど、安全管理に万全を図った点も評価に値する。 鋼製自在枠土留工の表面部分の詰石を丁寧に仕上げるなど、出来形・出来ばえ共に極めて優秀である。</p>
特殊 構造 物 （災 害復 旧工 事） 部門		<p>農業用施設災害復旧事業（23年災） 鍵金堰(かぎかねぜき)地区 南会津郡只見町大字叶津 地内 頭首工 N=1箇所 南総建 株式会社 代表取締役 酒井 秀明 （旧：福南建設 株式会社 代表取締役 羽田 正）</p> <p>本工事は、平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨災で被災した頭首工の災害復旧工事である。 急峻な地形条件のため、降雨後現場までの出水到達時間が異常に早く、気象データから雨量情報を迅速に把握することにより、度重なる異常な出水への事前準備、対応を行った点は高く評価できる。 また、根固めブロックの設置においては、隙間間隔の保持と作業員の指はさみ防止、現場採取転石による流入水路や根固め工の施工など、きめ細かな工夫をこらした点も評価に値する。 頭首工躯体の工事は、コンクリートの品質管理も入念に行っており、出来形・出来ばえ共に優秀である。</p>